

2019年4月7日 「中国・民衆法廷」への短い陳述書

マリア・フィアタローネ=シン 医師 FRACP

私は、米国とオーストラリアで内科および老年医学の専門医です。現在、シドニー大学の保健学部と医学部の教授を常勤で務めています。簡単な履歴書を添付しました。高齢者の慢性疾患と自立生活障害の予防と治療の医療に、運動と食事療法を組み入れることを中心に、研究・臨床・教育にあたってきました。

2008年にシドニーで行われた国際移植学会の会合でデービッド・マタス氏が提示したデータを聴いてから、この臓器収奪問題に関わるようになり、この非倫理的な医療行為を欧米の医学界の同僚に認識してもらおうと働きかけてきました。中国での移植制度を組織化し、当時、中国衛生省の副大臣であった黄潔夫医師が、シドニー大学で研修を受け、同大学の名誉教授でもあることを、偶然にも発見したことで、倫理、法律、医療面で国際的な同僚と結束して、非倫理的な移植手術の運営・計画・発展における黄潔夫の個人的な関与を調査・曝露し、良心の囚人からの臓器収奪の規模を詳細に医学界・学術研究機関・医学誌の編集者・広く一般に伝えるために取り組み始めました。

私や同僚の取り組み内容の一部を下記に列記します。

- ・ 2014年、シドニー大学は黄潔夫の名誉教授の肩書を3年間更新することを停止
- ・ 多くの学術論文（下記に記載）の提出。  
英語の移植学術誌に発表された445の論文に記載されている2000～2017年の85,477件の臓器移植に関する、ブリティッシュ・メディカル・ジャーナル（BMJ）で最近発表された調査論文も含む。445の論文の84%は臓器が倫理的に入手されたという証拠もしくは言及に欠ける。処刑された囚人からの臓器は用いなかったと明示する論文は33のみだった。そのうちの19の論文は虚偽であることが明確である。2010年以前の移植手術の臓器源はすべて、処刑された囚人であると中国が認めているからだ。
- ・ オーストラリアの議員間で関心を寄せるグループ設置
- ・ 公共のフォーラム開催とメディア報道
- ・ 地方自治体および国連への請願書提出
- ・ 中国への移植ツーリズムを禁じ、合意なくまたは強制的に収奪された臓器を非倫理的に入手  
もしくは受け取ることへの関与を、治外法権で罰するための法的取組みの開始

臓器収奪に関する学術論文（タイトルのみに邦訳挿入）

1. Rogers, W., Robertson, M., Ballantyne, A. et al. 2019. Compliance with ethical standards in the reporting of donor sources and ethics review in peer-reviewed publications involving organ transplantation in China: A scoping review.

Open 9. (ドナー源の報告における倫理基準への準拠と、中国での臓器移植に関わる査読された発表論文の倫理面からの見直し：スコーピングレビュー) BMJ

2. Rogers, W., Fiatarone Singh, M.A. and Lavee, J. 2017. Papers based on data concerning organs from executed prisoners should not be published. (処刑された囚人からの臓器に関するデータに基づく論文は発表されるべきでない) Liver International 37 769-769.

3. Rogers, W., Fiatarone Singh, M.A. and Lavee, J. 2017. Papers based on data concerning organs from executed prisoners should not be published: Response to Zheng and Yan.(処刑された囚人からの臓器に関するデータに基づく論文は発表されるべきでない：ZhengとYanへの応答) Liver International 37 771-772.

4. Trey, T., Sharif, A., Schwarz, A. et al. 2016. Transplant Medicine in China: Need for Transparency and International Scrutiny Remains. (中国での移植医療：今も要される透明性と国際的な監視の必要性) American Journal Of Transplantation 1-6.

5. Sharif, A., Trey, T., Schwarz, A. et al. 2016. Truth and Transparency. (真実と透明性) American Journal Of Transplantation 2016 1-2.

6. Rogers, W., Trey, T., Fiatarone Singh, M.A. et al. 2016. Smoke and mirrors: unanswered questions and misleading statements obscure the truth about organ sources in China. (煙と鏡[訳注：手品師の使うトリックーごまかしの意]：中国での臓器源に関する未回答の疑問と真実をあいまいにする不明朗な声明) Journal of Medical Ethics 42 552-553.

7. Trey, T., Sharif, A., Fiatarone Singh, M.A. et al. 2015. Organ transplantation in China: concerns remain. (中国での臓器移植：残る懸念) The Lancet 385 854-854.

8. Sharif, A., Fiatarone Singh, M.A., Trey, T. et al. 2014. Organ procurement from executed prisoners in China. (中国での処刑された囚人からの臓器摘出) American Journal Of Transplantation 14 2246-2252.

9. Lavee, J., Fiatarone Singh, M.A., Trey, T. et al. 2014. The uninvestigated factor behind the negative attitudes toward cadaveric organ donation in China. (中国での死体臓器提供に対する否定的な態度の背後にある調査されない要因) Transplantation 98 e78-e79.

10. Fiatarone Singh, M.A. 2012. The Mission of Medicine (医療の使命) . Woodstock, Canada: Seraphim Editions.

11. Trey, T., Halpern, A. and Fiatarone Singh, M.A. 2011. Organ transplantation and regulation in China. (中国での臓器移植と規制) JAMA - Journal of the American Medical Association 306 1863-1864.